



2022年の元日から1か月が経ちました。子どもたちは「今年のめあて」や「今学期のめあて」を書いて3学期をスタートしました。コロナ禍の日常生活において「未来」は、子どもたちにとっても保護者の方にとっても、心配なこと、不安なことが多いかもしれません。そのような世の中にあっても、子どもたちには明確な目標をもって、充実した1日を過ごしてもらいたいと思います。

子どもたちが大好きな「ざんねんないきもの事典」の著者、今泉忠明さんは、「未来はどうしたら、楽しいものになりますか?」という質問に対して、以下のように答えています。



未来を考えると、「将来何になる」とか、おおげさなことではありません。未来は、「楽しい」と思うことこそたいせつ。そのために、すぐできることがあります。それは、「夢を三つ持つ」ということです。ひとつ目は、明日か一週間以内にすぐに達成できること。ふたつ目は、もう少し先の、何か月後か何年後かに達成したいこと。そして三つめに、大きな夢や生涯で達成したいことを決める。実現できないかもしれなくても恐れずに決めてみてください。

実はこの三つの中で重要なのは、ひとつ目のすぐ達成できる目標を決めることなんです。「明日、ケーキを食べよう」でも「100円ショップであれを買おう」でも何でもいいんです。簡単になっちゃったら、またすぐに新しい目標を立ててください。夢を持つことで大事なのは、目標達成のために「やらなくちゃいけないこと」に追われるだけではなくて、つねに楽しみを持ち続けて更新していくことなんです。楽しみながら少しずつ努力すれば、いつかは達成できるというイメージを持っていることが必要なんです。たとえ実現できなくても、夢を持つ、語るということが君たちにとっていいことなんです。自分のやる気を持続するためにも、ぜひ試してみてください。

引用：澤井智毅「大人は知らない 今ない仕事図鑑100」講談社

4年生の総合的な学習の時間では、「自分発見9マスシート（右図参照、参考：澤井智毅「大人は知らない 今ない仕事図鑑100」講談社）」を使って「今の自分」についてまとめる学習をしています。「2011年度にアメリカの小学校に入学した子どもたちの65パーセントは、大学卒業時に今は存在していない職業に就くだろう」

（キャシー・デビッドソン,2011）と言われていた現代において、「どんな仕事に就きたいか?」という質問の答えは限りなくあります。自分を見つめ、今を見つめることが、

「未来」に繋がるのかもしれませんが。ご家庭でもぜひ、話題にしていだけたらと思います。



①楽しい!	②得意!	③ぼく・わたしは ○○
④[] から 見たいところ	自分の名前	⑤こんなの良い な!
⑥こんないや だな!	⑦こんなことして みたい!	⑧すぐにやっ てみよう!

